

人に未来を。医療に明日を。



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日  
東

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社 上場取引所  
コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-6811-2958  
定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月30日  
有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	259,789	8.7	1,327	△29.4	1,750	△27.8	1,124	△24.9
2023年6月期	239,054	5.5	1,880	△17.1	2,423	△12.1	1,498	△19.8

(注) 包括利益 2024年6月期 1,474百万円 ( △12.3%) 2023年6月期 1,680百万円 ( △6.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	51.21	51.00	5.9	1.6	0.5
2023年6月期	68.32	68.09	8.4	2.5	0.8

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 △43百万円 2023年6月期 △3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	114,826	19,737	17.2	891.21
2023年6月期	97,455	18,572	19.1	847.10

(参考) 自己資本 2024年6月期 19,737百万円 2023年6月期 18,572百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	1,921	△2,674	4,006	13,544
2023年6月期	1,224	△862	862	10,291

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	22.00	22.00	482	32.2	2.7
2024年6月期	—	0.00	—	21.00	21.00	465	41.0	2.4
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		33.0	

3. 2025年6月期の連結業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	280,000	7.8	1,400	5.5	2,000	14.3	1,280	13.8	57.62

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名)マコト医科精機株式会社、除外 1社(社名) —
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	22,147,494株	2023年6月期	21,925,104株
2024年6月期	958株	2023年6月期	958株
2024年6月期	21,961,818株	2023年6月期	21,924,146株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	2,929	△2.7	458	△38.3	707	△27.0	649	△36.0
2023年6月期	3,010	10.5	742	1.5	968	△3.0	1,014	8.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期	29.55		29.43					
2023年6月期	46.27		46.12					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年6月期	26,040		9,923		38.1		448.09	
2023年6月期	22,808		9,335		40.9		425.81	

(参考) 自己資本 2024年6月期 9,923百万円 2023年6月期 9,335百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. その他 .....	20
(1) 役員の変動 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、医療機関に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類感染症に移行したこともあり、医療需要の回復が見られた一方、エネルギー価格の高止まりや為替変動の影響に起因するコスト増加が続くことも懸念され、依然として先行きが不透明な状況が続いております。また、医療機関においては、本感染症の感染拡大に端を発し増加している感染対策に係るコストや物価上昇等の社会情勢により経営環境は厳しさを増しており、効果的・効率的な医療提供体制の構築が重点課題となっております。

このような経営環境の下、当社グループは、持続可能な医療体制構築に向けて、製品の安定供給並びに顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当連結会計年度においては、医療需要の回復及び新規顧客獲得等の販売拡大により手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルスの検査に係る試薬及びPPE(個人用防護具)等の感染対策に関わる製品については需要の落ち着きに伴い販売が減少いたしました。売上総利益においては、物価上昇や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、増収に伴い増加しております。

販売費及び一般管理費については、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用及びベースアップの実施により人件費が増加いたしました。加えて、販売拡大に伴う物流コストの増加、セキュリティ強化及び法令対応に伴うシステム関連費用の発生及び事業譲受に伴うのれん償却費の増加により増加しております。なお、特別利益において279百万円を計上しておりますが、主たる要因は投資有価証券の売却益であります。

この結果、当連結会計年度における売上高は259,789百万円(前期比8.7%増)、営業利益は1,327百万円(同29.4%減)、経常利益は1,750百万円(同27.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,124百万円(同24.9%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 医療機器販売事業

医療機器販売事業につきましては、検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルス感染症に係る製品の販売は減少したものの、整形外科領域を中心に手術室関連製品の販売が拡大いたしました。また、循環器領域においても新規顧客の獲得及び症例回復により販売が拡大し、売上高及び売上総利益は前期と比較して増加いたしました。

しかし、事業規模拡大に伴う人員増加、営業拠点の移転及び開設に関する費用の発生並びに物流関連コストの増加等により販売費及び一般管理費が増加したことでセグメント利益については減少いたしました。

この結果、売上高は253,996百万円(前期比8.7%増)、売上総利益は28,853百万円(同6.2%増)、セグメント利益(営業利益)は9,186百万円(同0.7%減)となりました。

#### ② 介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業及びビストマ製品の販売が好調に推移したことで、前期と比較して売上高、売上総利益及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、売上高は5,792百万円(前期比5.6%増)、売上総利益は2,250百万円(同4.7%増)、セグメント利益(営業利益)は436百万円(同7.8%増)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

##### 医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末から17,371百万円増加し114,826百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から15,024百万円増加し91,252百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,311百万円、受取手形及び売掛金が7,777百万円、未収入金が3,012百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から2,346百万円増加し23,574百万円となりました。これは主に有形固定資産が1,058百万円、無形固定資産が782百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② 負債

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末から16,205百万円増加し95,089百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から12,783百万円増加し84,326百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が7,665百万円、短期借入金が4,997百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から3,421百万円増加し10,762百万円となりました。これは主に長期借入金が384百万円減少した一方で、長期前受収益が3,292百万円、役員退職慰労引当金が159百万円それぞれ増加したことによるものであります。

③ 純資産

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末から1,165百万円増加し19,737百万円となりました。これは主に利益剰余金が642百万円、その他有価証券評価差額金が261百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ3,253百万円増加し、13,544百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,921百万円の収入(前期は1,224百万円の収入)となりました。

これらの要因は主に、税金等調整前当期純利益1,946百万円、減価償却費1,532百万円、仕入債務の増加額6,175百万円等の収入要因が、売上債権の増加額6,711百万円、棚卸資産の増加額781百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,674百万円の支出(前期は862百万円の支出)となりました。

これらの要因は主に、投資有価証券の売却による収入358百万円等の収入要因が、有形固定資産の取得による支出1,218百万円、無形固定資産の取得による支出442百万円、長期前払費用の取得による支出551百万円、事業譲受による支出800百万円等の支出要因を下回ったことによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,006百万円の収入(前期は862百万円の収入)となりました。

これらの要因は主に、短期借入金の純増額5,150百万円、長期借入れによる収入660百万円等の収入要因が、長期借入金の返済による支出1,251百万円、配当金の支払額482百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率(%)	19.8	18.8	18.6	19.1	17.2
時価ベースの自己資本比率(%)	27.6	26.2	22.5	19.7	17.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	795.9	169.3	—	1,598.0	1,258.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	26.3	127.7	—	14.4	19.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2022年6月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(注6) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年6月期の期首から適用しており、2021年6月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(4) 今後の見通し

医療業界においては、少子高齢化の進展に伴う医療・介護ニーズの高まりから「地域医療構想」により効果的・効率的な医療・介護提供体制の整備が進められております。また、2024年4月より「医師の働き方改革」が施行され、人手不足や物価上昇等の制約の中でも医療の質の維持・向上と併せて業務効率化が一層求められる、医療機関にとって厳しい環境となることが想定されます。

当社グループの属する医療機器販売業界においては、医療機関の運営効率化や経営改善に貢献しうる複合的なサービスの提供が求められる状況において、企業間の競争が勢いを増しており、加えて、医療機器メーカーによるリスク低減施策として大手ディーラーへの取引先集約という動きもあることから、企業規模、商圏の拡大を目的とした合従連衡の機運が一層高まるものと考えられます。

このような経営環境の下、当社グループは「地域医療への貢献」を経営理念に掲げ、医療機器の安定供給をはじめとして、ITによる管理システムや物流の効率化、高度・先進医療技術や医療現場に関する情報提供等医療経営のサポートを推進することで、多様化する医療機関からのニーズに応え、高度で信頼できる医療環境の創造へ貢献することを目標としております。当社グループが独自に構築した日本最大級の医療材料データベースである「ASOURCE® DATABASE」を基盤とした、SPD、手術室運営支援プログラム「SURGELANE®」や医療材料価格の最適化支援システム「m e c c u l®」等のソリューションツールを組み合わせた提案等、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスの推進に努めてまいります。

足元では、新型コロナウイルス感染症の再拡大が見られるものの、検査・手術症例の回復が継続することを見込んでおります。一方、2024年6月に施行された診療報酬改定において材料価格が引き下げられたこと及び資源価格の高騰や為替変動による物価上昇等の影響は当社グループの業績を押し下げる要因となることが想定されます。

このような中でもソリューションを中心とした顧客への包括的な提案を行うことによる事業拡大、また、循環器領域においては西日本を、整形外科領域では既存領域を中心に各領域に特化した連結子会社が顧客ニーズに即したサービスを提供していくことによる市場シェア拡大を見込んでおります。加えて、マコト医科精機(株)がグループインしたことで、次期(2025年6月期)の業績については増収を見込んでおります。

販売費及び一般管理費については、主要子会社における事業規模拡大に伴う人材採用及び拠点の開設・移転に関する費用の発生、販売量増加に伴う物流委託費用の増加や2024年6月期より稼働している倉庫管理システムのランニングコスト等の物流に関する費用の増加並びに人材育成やエンゲージメント向上に向けた社内環境整備等の人的資本強化への投資により増加することを見込んでおりますが、増収に伴う売上総利益の増加、スケールメリットを活かしたコストの低減を図ることで営業利益は増加することを見込んでおります。

また、2022年5月より稼働している太田ディストリビューションセンターに関する補助金の入金に伴う営業外収益の計上を連結業績予想に織り込んでおります。

以上から、次期(2025年6月期)の業績としては下記のとおり見込んでおります。

<連結業績予想>

(単位：百万円)

	2024年6月期 連結業績	2025年6月期 連結業績予想	増減率 (%)
売上高	259,789	280,000	7.8
営業利益	1,327	1,400	5.5
経常利益	1,750	2,000	14.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,124	1,280	13.8

(注) SPD

Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおきましては、連結子会社である(株)栗原医療器械店、協和医科器械(株)、(株)ミタス、(株)秋田医科器械店、メディアスソリューション(株)、マコト医科精機(株)、ノアインターナショナル(株)及び持分法非適用関連会社である(株)エヌエイチエス静岡が行っております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の株主に対する利益配当につきましては、中・長期にわたる安定的な成長を維持するために必要な内部留保を確保しつつ、その成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針とし、連結での配当性向30%以上を目途に配当を行うこととしております。また、内部留保資金は業界再編を含めた市場の変化に対応した事業展開への備えとしております。

このような方針に基づき、経営環境等を勘案し、当期(2024年6月期)の期末配当につきましては、2024年8月8日の取締役会決議に基づき、1株当たり21円といたします。

次期(2025年6月期)につきましては、1株当たり19円とすることを予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,330,262	13,641,810
受取手形及び売掛金	50,267,866	58,045,152
リース投資資産	32,403	19,571
商品及び製品	11,845,054	12,741,893
原材料及び貯蔵品	12,027	13,611
未収入金	3,407,914	6,420,564
その他	437,604	495,942
貸倒引当金	△105,033	△125,838
流動資産合計	76,228,099	91,252,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,353,121	9,020,401
減価償却累計額	△2,259,368	△2,708,047
建物及び構築物（純額）	6,093,753	6,312,354
機械装置及び運搬具	1,038,033	1,041,618
減価償却累計額	△194,487	△338,452
機械装置及び運搬具（純額）	843,545	703,166
工具、器具及び備品	1,809,250	2,119,185
減価償却累計額	△1,245,818	△1,460,894
工具、器具及び備品（純額）	563,432	658,290
土地	3,291,308	3,879,859
建設仮勘定	169,368	221,646
その他	178,361	449,623
減価償却累計額	△120,881	△147,236
その他（純額）	57,479	302,386
有形固定資産合計	11,018,886	12,077,703
無形固定資産		
のれん	844,307	1,500,001
その他	1,163,383	1,290,283
無形固定資産合計	2,007,690	2,790,284
投資その他の資産		
投資有価証券	4,461,353	4,713,827
長期貸付金	24,584	17,815
繰延税金資産	1,943,935	1,916,554
その他	1,796,588	2,082,450
貸倒引当金	△25,384	△24,550
投資その他の資産合計	8,201,076	8,706,096
固定資産合計	21,227,653	23,574,085
資産合計	97,455,753	114,826,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,542,782	60,207,850
短期借入金	14,965,395	19,962,664
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	323,712	545,604
契約負債	141,714	123,636
賞与引当金	45,448	59,794
役員賞与引当金	143,914	117,617
株式報酬引当金	-	86,995
資産除去債務	9,912	-
その他	3,362,882	3,215,469
流動負債合計	71,542,762	84,326,632
固定負債		
社債	15,000	8,000
長期借入金	4,580,404	4,196,120
繰延税金負債	879,493	968,611
役員退職慰労引当金	-	159,000
債務保証損失引当金	100,460	113,596
株式報酬引当金	78,257	-
退職給付に係る負債	1,388,578	1,422,014
資産除去債務	136,159	161,320
長期前受収益	-	3,292,241
その他	162,569	441,831
固定負債合計	7,340,921	10,762,736
負債合計	78,883,684	95,089,368
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,344,769	1,344,769
資本剰余金	2,671,008	2,843,805
利益剰余金	12,692,118	13,334,463
自己株式	△450	△450
株主資本合計	16,707,446	17,522,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,874,543	2,136,083
退職給付に係る調整累計額	△9,920	78,753
その他の包括利益累計額合計	1,864,623	2,214,837
純資産合計	18,572,069	19,737,425
負債純資産合計	97,455,753	114,826,794

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	239,054,420	259,789,000
売上原価	209,749,051	228,700,301
売上総利益	29,305,368	31,088,699
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△8,287	24,526
株式報酬引当金繰入額	38,791	11,521
給料及び手当	10,939,703	12,088,253
従業員賞与	2,825,459	2,893,658
賞与引当金繰入額	45,448	59,794
役員賞与引当金繰入額	143,914	105,692
退職給付費用	557,172	577,774
法定福利費	2,144,862	2,360,275
減価償却費	1,097,580	1,090,376
賃借料	2,152,766	2,267,395
業務委託費	2,354,159	2,493,101
その他	5,133,022	5,789,081
販売費及び一般管理費合計	27,424,593	29,761,451
営業利益	1,880,774	1,327,247
営業外収益		
受取利息	1,640	1,175
受取配当金	106,095	55,207
仕入割引	309,632	330,475
受取手数料	91,222	83,202
その他	139,810	135,552
営業外収益合計	648,400	605,614
営業外費用		
支払利息	84,937	99,362
持分法による投資損失	3,930	43,469
債務保証損失引当金繰入額	1,461	13,135
その他	15,229	26,407
営業外費用合計	105,559	182,375
経常利益	2,423,616	1,750,486
特別利益		
固定資産売却益	7,612	5,953
投資有価証券売却益	108,328	273,326
特別利益合計	115,940	279,279
特別損失		
固定資産売却損	1,840	463
固定資産除却損	5,457	2,891
減損損失	13,458	79,677
特別損失合計	20,757	83,032
税金等調整前当期純利益	2,518,800	1,946,732
法人税、住民税及び事業税	717,445	811,094
法人税等調整額	303,347	10,961
法人税等合計	1,020,792	822,056
当期純利益	1,498,008	1,124,676
親会社株主に帰属する当期純利益	1,498,008	1,124,676

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	1,498,008	1,124,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,379	261,539
退職給付に係る調整額	52,475	88,674
その他の包括利益合計	182,855	350,213
包括利益	1,680,863	1,474,890
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,680,863	1,474,890

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,344,769	2,671,008	11,610,668	△450	15,625,996	1,744,163	△62,395	1,681,768	17,307,764
当期変動額									
株式交換による増加					-				-
剰余金の配当			△416,558		△416,558				△416,558
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,498,008		1,498,008				1,498,008
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						130,379	52,475	182,855	182,855
当期変動額合計	-	-	1,081,449	-	1,081,449	130,379	52,475	182,855	1,264,304
当期末残高	1,344,769	2,671,008	12,692,118	△450	16,707,446	1,874,543	△9,920	1,864,623	18,572,069

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,344,769	2,671,008	12,692,118	△450	16,707,446	1,874,543	△9,920	1,864,623	18,572,069
当期変動額									
株式交換による増加		172,797			172,797				172,797
剰余金の配当			△482,331		△482,331				△482,331
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,124,676		1,124,676				1,124,676
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						261,539	88,674	350,213	350,213
当期変動額合計	-	172,797	642,345	-	815,142	261,539	88,674	350,213	1,165,356
当期末残高	1,344,769	2,843,805	13,334,463	△450	17,522,588	2,136,083	78,753	2,214,837	19,737,425

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,518,800	1,946,732
減価償却費	1,477,686	1,532,116
のれん償却額	193,102	284,749
減損損失	13,458	79,677
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107,391	92,276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,536	19,970
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,034	△9,254
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,035	△26,297
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	35,930	8,738
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	1,461	13,135
受取利息及び受取配当金	△107,735	△56,382
支払利息	84,937	99,362
固定資産売却損益 (△は益)	△5,771	△5,489
固定資産除却損	5,457	2,891
持分法による投資損益 (△は益)	3,930	43,469
役員退職慰労金	△50,009	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,664,984	△6,711,068
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△202,327	△781,494
リース投資資産の増減額 (△は増加)	47,496	28,211
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	518,840	△374,025
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,481,875	6,175,225
投資有価証券売却損益 (△は益)	△108,328	△273,326
未払消費税等の増減額 (△は減少)	794,748	△632,301
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△264,285	451,025
その他	△1,367	32,879
小計	3,874,773	1,940,822
利息及び配当金の受取額	106,857	53,501
利息の支払額	△85,179	△98,513
法人税等の支払額	△2,867,426	△773,790
法人税等の還付額	195,461	799,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,224,486	1,921,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42,986	△80,795
定期預金の払戻による収入	74,194	74,195
有形固定資産の取得による支出	△553,245	△1,218,086
有形固定資産の売却による収入	45,918	△3,008
有形固定資産の除却による支出	△431	8,071
無形固定資産の取得による支出	△370,156	△442,255
投資有価証券の取得による支出	△11,422	△6,503
投資有価証券の売却による収入	216,423	358,455
貸付金の回収による収入	21,147	25,628
長期前払費用の取得による支出	△471,223	△551,380
敷金及び保証金の差入による支出	△86,240	△125,912
敷金及び保証金の回収による収入	153,477	65,547
事業譲受による支出	-	△800,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	65,541	1,183
保険積立金の積立による支出	△38,724	△26,162
保険積立金の解約による収入	133,147	56,113
その他	1,641	△9,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△862,940</b>	<b>△2,674,476</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,218,536	5,150,000
長期借入れによる収入	700,000	660,200
長期借入金の返済による支出	△1,557,811	△1,251,425
リース債務の返済による支出	△82,047	△70,144
配当金の支払額	△415,781	△482,353
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>862,896</b>	<b>4,006,276</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>1,224,443</b>	<b>3,253,309</b>
現金及び現金同等物の期首残高	9,067,024	10,291,467
現金及び現金同等物の期末残高	10,291,467	13,544,776

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、マコト医科精機㈱の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、商品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「医療機器販売事業」及び「介護・福祉事業」の2つを報告セグメントとしております。

「医療機器販売事業」は、医療機器の販売、医療機器の修理及びメンテナンスを行っております。「介護・福祉事業」は、介護福祉機器の販売及びレンタルを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	233,567,565	5,486,855	239,054,420	—	239,054,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240	—	240	△240	—
計	233,567,805	5,486,855	239,054,660	△240	239,054,420
セグメント利益	9,254,126	404,782	9,658,908	△7,778,134	1,880,774
セグメント資産	55,768,338	1,387,787	57,156,125	40,299,628	97,455,753
その他の項目					
減価償却費	311,557	462,799	774,357	703,329	1,477,686
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	505,903	478,679	984,582	407,207	1,391,790

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△7,778,134千円には、セグメント間取引消去81,268千円、のれん償却額△193,102千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,666,299千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2)セグメント資産、減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産、減価償却、有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	253,996,894	5,792,106	259,789,000	—	259,789,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,129	—	3,129	△3,129	—
計	254,000,024	5,792,106	259,792,130	△3,129	259,789,000
セグメント利益	9,186,737	436,466	9,623,203	△8,295,955	1,327,247
セグメント資産	64,555,794	1,522,523	66,078,317	48,748,476	114,826,794
その他の項目					
減価償却費	345,755	503,306	849,062	683,053	1,532,116
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,294,148	443,995	1,738,144	735,612	2,473,757

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△8,295,955千円には、セグメント間取引消去39,614千円、のれん償却額△284,749千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,050,819千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2)セグメント資産、減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントへ配分していない全社資産、減価償却、有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
減損損失	9,916	3,542	13,458	—	13,458

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
減損損失	79,677	—	79,677	—	79,677

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
当期償却額	—	—	—	193,102	193,102
当期末残高	—	—	—	844,307	844,307

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
当期償却額	—	—	—	284,749	284,749
当期末残高	—	—	—	1,500,001	1,500,001

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社に係る金額であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	847円10銭	891円21銭
1株当たり当期純利益	68円32銭	51円21銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	68円09銭	51円00銭

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,498,008	1,124,676
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,498,008	1,124,676
普通株式の期中平均株式数(株)	21,924,146	21,961,818
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	74,624	89,575
(うち株式報酬型新株予約権)(株)	(74,624)	(89,575)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	18,572,069	19,737,425
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,572,069	19,737,425
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,924,146	22,146,536

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ①代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ②その他の役員の変動 (2024年9月27日付予定)

###### ・新任取締役候補

社外取締役 (監査等委員) 横幕 才 (元 株式会社ホリスター代表取締役社長)